



成果指標				
成果指標	主な活動指標事業の参加者数その他活動事業数と参加延人数。			
指標設定の考え方	①主な事業の参加者数、②その他活動事業数、③②の参加延人数とし、多様な学習機会の創設と選択的学習の推進への指標とする。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	150事業2500人	8事業2370人	0	0
実績	12事業1545人	9事業2391人	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	多様な年齢層が自主的に選択できる様々な学習機会を提供できた。自らの技術を発揮しリーダーとして指導できる場を提供する仕組みを検討。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	多様な年齢層が自主的に選択できる様々な学習機会の提供ができている。また市民自らが考えた学習プログラムの支援も行なっている。今後は学習成果を生かせる場の仕組みを検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	